



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH

Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Show Rotary Cares・『ロータリーの心を』

1997～98年度・国際ロータリーテーマ／グレンW・キンロス会長

『ロータリーの原点』に立ち『新鮮な眼でクラブライフを』

1997～98年度・東京新南ロータリークラブテーマ／武下 朗会長

◎本日の例会

3月13日第551回例会

☐卓話「クラブの自主性とRIの管理について」

ロータリー情報委員長 田辺 賢三 君

☐クラブフォーラム

「クラブの自主性とRIの管理について」

13:35～15:00

◎先週報告

3月6日第550回例会

☐社会奉仕委員会報告（吉田委員長）

書き損じハガキの収集について、皆様に御協力をお願いしていましたが、2月27日で締切りしましたところ、計844枚が集まりました。御陰様で、目標を達成できました事を御報告申し上げます。尚、書き損じハガキは、港区社会福祉協議会からも、協力を依頼されていますので、ドンドン書き損じをしていただいて、お持ちいただきたいと思います。

☐雑誌委員会（梶内委員）「ロータリーの友」3月号読みどころ紹介

①横組P27 「車いすウォーキングに協力」当クラブ社会奉仕委員会活動の記事、写真。

②縦組P2 いわゆる「歴史認識」について。

③縦組P28 談話室「日本ロータリー親睦ゴルフ東京大会」について当クラブ斉藤会員投稿。

☐慶事披露●お誕生日／小遊雅亮君（3月1日）

●100%出席／青野信次君（10年）、鍋島晴夫君（4年）

☐出席報告●会員72名／出席45名・欠席27名（出席規定免除者1名）、ビジター9名、ゲスト1名

☐卓話 イニシエーション スピーチ

3月6日第550回例会

「不憂、不惑、不懼」

当クラブ会員

メディア・ワールドCO.,LTD代表取締役 水原 信太郎



水原 信太郎 君

「不憂、不惑、不懼（うれえず、まどわず、おそれず）」この言葉は私の父水原茂が現役監督時代に好んでサイン色紙に書いていたものである。

私は大学を卒業するや当時の新しいメディアとして脚光を浴びて来たテレビ局へ入社した。人に使われる状況の中では、自分の判断にもとづいて事を進めるというクリエイティブな仕事であっても、上の命令によ

てという部分がほとんどなので、いわば他人まかせの気楽さがあった。

したがって、横で先輩が悩む姿や迷う姿を見ても『早く決断してくれ』という事しか考えなかったが、その先輩はその時こういう事態にぶつかっていた。あるショウ番組収録の時のことである。60分番組を収録する際にロールを5R～6Rに分ける。その最終ロールの約10分位であったが、一番最後のシーンで画面にブームが出てしまった。それもほんの一寸。シーンは全部取り終えたが、VTRを止めた後彼は悩んだ。とり直そうか、その間5分位だった。どうするか結論はそのディレクターがにぎっている。

まさに彼は憂い、惑い、懼れていたのである。結果は取り直しとなったが、彼の決断は一寸時間がかかり過ぎた。

その後、間もなく私自身も一本立ちして同じ様な場面にたびたび遭遇したが、その立場に立ってみると端で見ているのと異なり、大変苦しんだ。もちろん、不憂、不惑、不懼という言葉は知っていたが、頭には入っていなかった。しかし、ずっと後にこの言葉の重みを知る事となる。

今まで、私自身この言葉を身にしみて感ずる事はなく過ぎてきましたが、最近本当に心から重く受けとめる出来事がありました。それは私の家内のガン宣告でした。丁度一年前近くの5月でした。大腸ポリープを切除したのですが、その一つにガン細胞が発見されたのです。お世話になっている小遊先生は100%大丈夫とおっしゃって下さいまして、安心はいたしました。本当の所は不安で一杯でした。

こうした時、この言葉がふいに思い出され、身におおいかぶさって来る気がしたのです。この時、私自身宣告する方とされる方とはという考え、される方よりする方がどれだけ大変かという事に気がつきました。多くの人々を診ていらっしゃる先生がこういう宣告をされる事は多々あると思います。その勇気と決断を思うと私より数倍の不憂、不惑、不懼があるのだと。

◎次週予告

3月20日第552回例会

☐RI第2750地区地区大会【3月19日（木）、20日（金）】に振替

【会場】新高輪プリンスホテル 国際館パミール 港区高輪3-13-1 TEL 3447-1111

大会第1日目【3月19日（木）】

◇会長・幹事会 10:00～11:30

◇本会議 13:00～

◇RI会長代理歓迎晩餐会19:00～21:30

【高輪プリンスホテル プリンスルーム】

大会第2日目【3月20日（金）】

◇R財団・米山奨学会朝食会 7:30～

【高輪プリンスホテル プリンスルーム】

◇本会議 9:00～12:40

◇懇親会 13:00～14:00

◎次々週予告

3月27日第553回例会

☐卓話予定「人間の能力の限界を求めて」

目白大学「記憶法」兼任講師 友寄 英哲 氏

上半期の活動を振り返って(4)

環境保全委員会

委員長 佐々木 忠行

地球環境の変化は、20世紀後半になって非常に顕著になり、地球上の動植物の生態系に与える影響は年々増加しています。その原因は、すべて我々人類が人工的に作り出したり、生活の利便性を追求した結果生成した物質によるものです。即ちCO₂、フロン等による地球の温暖化が植物系生態に大きな影響を与え、ダイオキシン等の猛毒性化学物質が、我々人類を含めた動物系生態を直撃しております。これらの問題は、国境を越えたグローバルな観点から理解をしていくべきであるのに、現実には地球環境会議でも、夫々の国の勝手な経済的、政治的な思惑に振りまわされ、仲々意見の一致を得られないのが実情です。しかし之等の問題は、世界の人々が、一人一人地球環境悪化のきびしさを理解し、より深く認識することによって着実に解決の道に近づいていくものと思います。従って今年度の当委員会でも従来通り、環境問題を一人でも多くの人々に認識して頂くPRに重点を置く方針で、下半期に次の行事を行う予定です。

- (1)地球環境問題への関心を高める内容の図書を港区内の学校に寄贈すると共に、当クラブ会員にも資料を配布し認識を深めていただく。
- (2)最近マスコミによく取りあげられるダイオキシンに関連する施設として、都の清掃工場(ゴミ焼却施設)の見学会を実施致しますので、問題点を自ら認識するという意味から是非参加されることをお願いします。

会員選考委員会

委員長 河原 勢自

本年度当委員会は、会員増強委員会の活発な活動に応じて、年度がはじまってすぐ忙しく活動を開始しました。7月4日に福島賢哉会員、7月10日に圓谷正和会員及び水原信太郎会員、7月31日に大山啓人会員、9月1日にテイエリ・コンシニ会員と面談し、選考させて頂きました。面談は原則として選考対象者の事務所に会員選考委員全員が出向いて行ないました。前年度から申し送りを受けた基準に従って、質問させて頂き、ロータリークラブの基本理念や当クラブのモットー等についても概略の説明を行ないまして、極めて質の高い御理解を頂きました。その結果、当委員会としては、すべての方が当クラブの会員として誠にふさわしいものと判断し、理事会に報告させて頂きました。

上半期、はやばやと5名の会員をお迎えすることができたことは大変喜ばしいことであり、これはひとへに会員増強委員会がすばらしい方々を推薦して下さいのおかげだと感謝しております。下半期も同様の忙しい活動ができるよう、増強委員会のみならず全会員の御協力をお願いする次第です。

出席委員会

委員長 島田 昌雄

97～98年度上半期(97年7月～12月)の当クラブの平均出席率は88.24%でした。ちなみに前年同期のそれは(96年7月～12月)は89.88%でした。当期の活動目標として96～97年度下半期の好調は出席率(94%強)の維持向上を期待していましたが、残念ながらやや及ばなかった様です。

然しながら、最近の世紀末的社会、経済、行政状況の大変動期にあって会員一人一人が事業経営の責任者として、数多くの問題に直面されている多忙の日々に、例会出席に、又メーキャップにこれだけの出席率を維持されていることに大きな感動を憶えるものです。出席率の高低にこだわらず、結果として会員がロータリー活動を楽しまれる出席機会が多くなる様に各委員会に協力して行きたいと考えています。

第2750地区千代田分区予選ゴルフ会報告

春の暖かさに恵まれた快晴の3月4日、RI第2750地区千代田分区予選ゴルフ会(13クラブ)が霞ヶ関カンツリー倶楽部東コースで行はれた。当クラブからは、松原、島田、吉田、関、吉岡、宮武の6名が参加した。団体戦の上位3チームには5月に行はれる地区親睦ゴルフ会参加の資格が与えられるが、今回は築地・日本橋東・芝の3クラブがこの資格を獲得した。当クラブは善戦空しくブービーであった。個人戦では吉岡さんが9位入賞を果たした。

今回の分区予選は新橋RCがホスト役で、早朝から会員をはじめとする20名の方にお世話いただいたが、次年度は順番で当クラブがホスト役を引受けることになっており、パーティー席上会長エレクト宮武が挨拶を行った。次年度の準備はいずれ担当委員会のもとで組織的に進められるが、会員皆様の暖かい御支援と御協力を希望します。(宮武 記)

3月火曜会報告

今日のテーマは「人とのふれあい」パネラーは新保さん。『私は91年5月に入会したが、すぐに7月から社会奉仕委員会に所属。それから4度社会奉仕委員を務めたので、社会奉仕を通じてのふれあいの話をしたい。初年度は大日方委員長のもとで、忘年家族会に泉の家から障害を持った人が大ぜい参加され、はじめて障害を持つ人を身近に感じた。次の武下委員長、田中委員長のときに続けて港区のパザールに参加した。田中委員長のとときは私が副委員長をし、クラブでブースを持つことになり1100点の品物を集めて販売した。翌年6月、泉の家の約80名の入居者にプレゼントを送ることになり、1人1人希望を聞いて吉岡さんと一緒に3日かけて買物をし、プレゼントを渡したときの笑顔が忘れられない。次の青野委員長のとときはアイメイト協会での三村さんと盲導犬エリック(新南2号)とのふれあい、泉の家では共同作業を行ない、私は洗剤の箱づめを体験したが、そのとき教えてくれた人のやさしさが忘れられない。昨年は車を押す体験をした。こうした様々な「人とのふれあい」はクラブに入らなければできなかった。』そのあと新保さんに刺激されて次々と参加者の体験が語られた。「社会奉仕」を取りあげたクラブ協議会のような充実した火曜会でした。2次会には11名が参加し、クラブフォーラムのような盛り上がりでした。(大日方 記)

出席者/佐藤、村山、小杉(眞)、高須、柴田(尚)、武下、吉岡、大日方、川鍋、四分一、大山、河原、新保、青野 (以上14名・到着順)

98年3月定例理事会議事録

日時 98年3月6日(金)例会後 13:40～15:50
場所 東京全日空ホテル 1F 孔雀の間
出席者 武下、伊部、宮武、関、吉田、梶内、吉岡、田辺、渡部(敬称略・順不同)

決議事項

1. RI会長賞応募の件/会長に一任する。
2. クラブフォーラム(3/13)次第を承認。
3. 第5回クラブ協議会(4/24)テーマ、次第を承認。
4. バギオ基金へ世界社会奉仕委員会費より50,000円寄付することを承認。
5. R財団同額補助金申請の件/検討する。
6. 3～6月プログラムを承認。

報告事項

1. 幹事報告
①コンピュータ導入について
②5月新旧合同理事会を5/15に変更(5/8地区協議会のため)
③地区大会(3/19、20)登録者56名、RI会長代理歓迎晩餐会3名
2. 会計報告(忘年家族会費収支報告)
3. 職業奉仕委員会報告/アンケートの件



3月6日/11件 32,000円
97～98年度累計 1,710,432円
多額の寄付を有難うございます。
(順不同、敬称略)

小湊雅亮・水原信太郎・鍋島晴夫・青野信次・清原元輔・田中 武・相澤成憲・小原 建・渡部一元・佐藤定宏・大村富俊
紙面の都合上コメントは省略させて頂きました。

東京新南ロータリークラブ

会長: 武下 朗 副会長: 山下忠治 幹事: 渡部一元
〒107 東京都港区赤坂 2-19-8 赤坂2丁目アネックス 3階
TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004
例会日●毎週金曜日 12時30分
例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂 1-12-33 TEL.03-3505-1111

<会報委員>

新保 國彦、荒木 昭文、廣瀬 哲久、
青野 信次、宮川 弘信、開発 英基、
田中 武、小杉 眞史、川鍋 二郎、
立林 英昭、吉田 用親、村山 公士
(編集担当順)